

発言議員	議案件名	要旨	答弁者
<p>13番 蜂須直巳議員</p>	<p>1. 側溝全蓋化計画の推進について ① 平成11年度に全蓋化計画が打ち出されてから5年が経過したが、この間の各年度の事業費と実施距離はどの位か。計画を打ち出す以前（5年間）と計画後（5年間）との比較数字はどの位違うのか。市街地における残る総延長距離と費用概算は。全蓋化計画という響きには5年間位で一定の完了を目指す感じを持つマニフェストではないが、未実施部について今後何年位での完了を目指すのか。 ② 最低限、公共下水道事業完了地域については早急な完了が必要だし、下水道工事未実施地域については工事時に一緒に進めるべきと思う。 ③ 他の予算を抑えても打ち出した計画は数年で完了させる様な予算配分が必要と考えるが、計画推進について基本的な考えを示してほしい。</p> <p>2. 次世代育成支援推進法について ① 行動計画策定委員会のメンバー構成に計画義務化された企業の委員は何人か。子育て中の委員数は。また公募の委員数は。 ② 計画が義務化される従業員301名以上の事業所数は。また、300名以下の事業所等に対する計画策定の依頼（要請）はどの様な方法で行って来たのか。これら各企業がどの様に取り組んでいるのか把握しているのか。また、問い合わせ等に助言や指導は行っているのか。 ③ 本市の事業計画「目標数値」はどうなっているか。 ④ 子育て支援を取り巻く状況をどの様に把握、分析した取り組みとするか。本市の置かれた状況をどの様に加味した計画か。</p> <p>3. 羽生高等技術専門学校跡地の有効活用 16年度生が卒業する17年3月をもって廃校となるが、跡地の有効活用について県当局とどの様な話をしているのか。県の考えを把握しているのか。当市としてはどの様な考えでいるのか。グラント敷地を少年野球等で借用しているが、これらの借用（利用）に支障はないのか。廃校後の管理体制はどうなるのか。当然県の管理ではあるが利用してない建物や敷地が荒れ放題となる可能性も心配される。</p>	<p>② 都市整備部長</p> <p>③ 市民福祉部長</p> <p>① 市長</p>	
<p>14番 落合信夫議員</p>	<p>1. 商業者の暮らしを守ることに ① 大型店出店に規制を ② 中心市街地の活性化策の推進を</p> <p>2. 彩北清掃組合の動向について 市単独の道を選択し、ゴミの減量、資源化の促進を</p> <p>3. 岩瀬区画整理事業の見直しについて ① 事業全体の見直し、中止を ② 職員派遣の見直しについて</p> <p>4. 災害に強い街づくりについて ① 住宅の耐震補強工事への助成について ② 利根川の安全確保について（整備面、国の堤防強化策を含めて）</p> <p>5. 河川の再生について 中川など市内河川の浄化をまずモデル的に実践すべきと思うが。</p>	<p>① 経済環境部長</p> <p>〃</p> <p>② 都市整備部長</p> <p>〃</p> <p>経済環境部長</p>	